

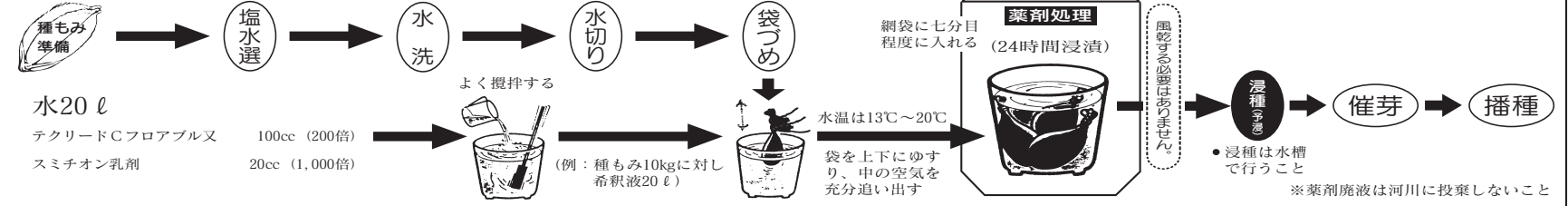
# 平成30年度 JA水稲主要病害虫の防除方法と除草剤の使い方

埼玉みずほ農業協同組合  
(平成29年9月1日現在登録内容より)

★保存版栽培技術ポスター（作業場等へ貼ると便利!!）★

## 種もみ消毒方法

テクリードCフロアブル+スミチオン乳剤



③温湯消毒の場合（コシヒカリ・彩のきずな 乾いている（購入種はそのまま） 種もみを使用） → 消毒（60℃の湯に10分間浸漬） → すぐに冷水浸漬5分間（萌芽防止） → 風乾（効果安定のため） → 浸種 → 催芽 → 播種

※去年、苗に病気発生した方は、上記①又は②の薬剤消毒をおすすめ致します。（ご不明な点はJAまでご相談下さい。）

## JA埼玉みずほ管内作付の主な県奨励品種の病害虫、気象耐性一覧

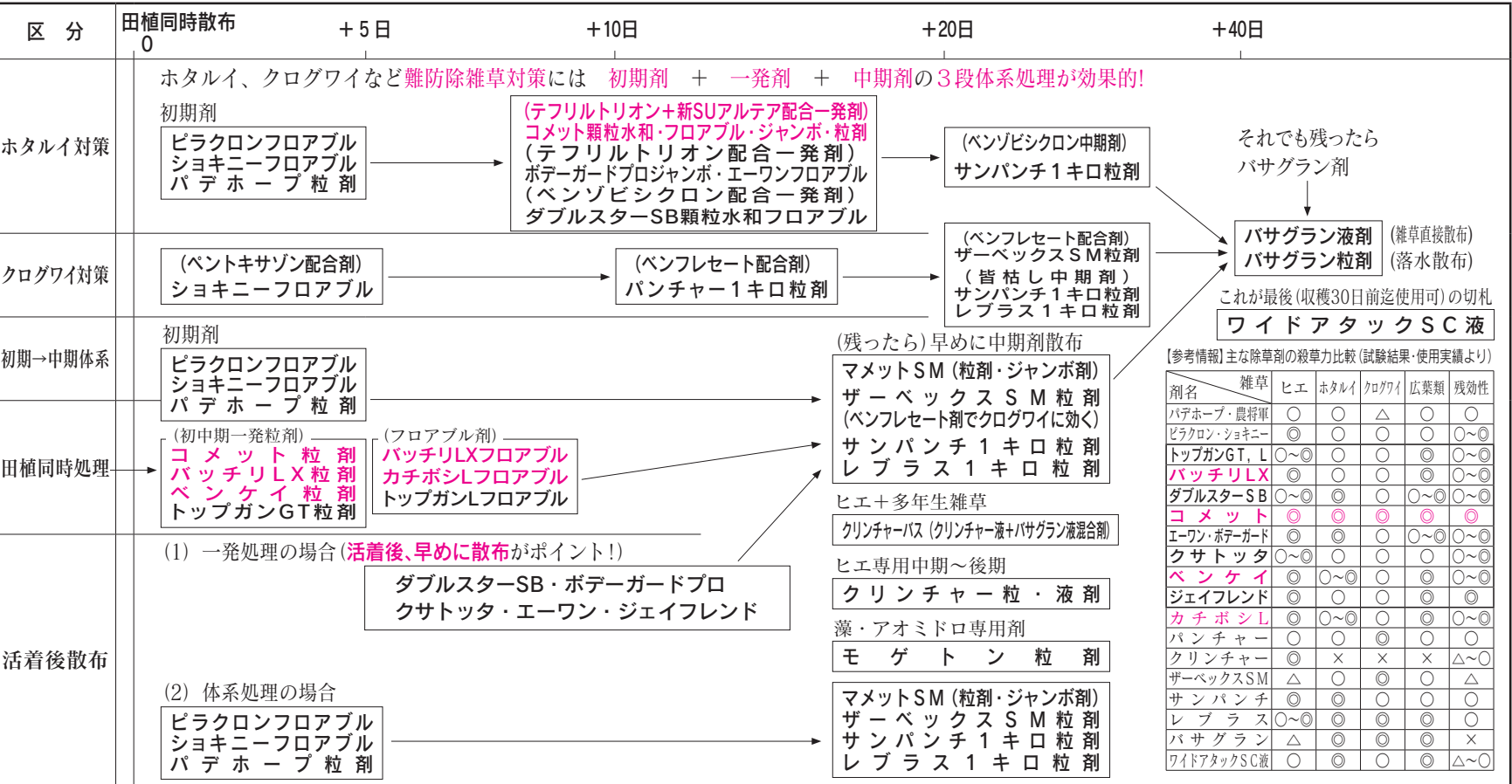
品種名	早晩性	5/1植出穂日	5/1植取穫日	平均収量	草丈(稈長)	耐倒伏性	耐病害虫抵抗性				耐温(気象)性		概評(長短、近況、注意情報等)
							いもち病	紋枯病	縞葉枯病(ウツカ病)	主な加害虫(防除必須)	高温(高温低湿)	低低温	
あきたこまち	極早生	7月8日	8月15日	8~8.5俵	89cm	やや弱	やや弱	やや弱	カメムシ	中	やや弱	カメムシ斑点米多発生注意品種。出穂期防除必須。	
ミルククイン	早生	7月24日	8月29日	7.5~8俵	92cm	弱	弱	中	ウンカ	弱	やや弱	低アミロース(粘りモチ感強)良食味の代表種。倒伏弱く、多肥禁止。高温で品質低下傾向。	
コシヒカリ	早生	7月25日	9月1日	8~8.5俵	87cm	弱	やや弱	中	ウンカ	弱	やや弱	管内7割作付の主力品種。近年、高温で品質低下傾向。ウツカ縞葉枯病も多発生につき苗箱施用殺虫剤必須。	
彩のきずな	中生	7月24日	9月7日	9~10俵	71cm	強	やや強	強	イネツトムシ	強	弱	高温に強く、良質多肥多収安定の奨励品種。低温弱い。紋枯病にやや弱い欠点あり。	
あさひの夢	中生	8月1日	9月11日	9~10俵	73cm	強	中	やや強	イネツトムシ	弱	中	障障(断水、群馬)作付多い業務需要向品種。無難な中生種。育苗時白化苗注意。(異常高温時発生)	
日本晴	晩生	8月7日	9月18日	9~10俵	80cm	中	中	中	ウンカ	中	中	強肥多収安定品種。ウツカ縞葉枯病に弱い欠点につき苗箱施用殺虫剤必須。	
彩のかかやき	晩生	8月5日	9月22日	9~10俵	78cm	強	やや強	強	イネツトムシ	弱	弱	いもち、ウツカ縞葉枯病には強い多肥多収安定の奨励品種。しかし、高温に非常に弱い欠点あり。(シタタ米多発)	

## ★除草剤の上手な使い方・効かずポイント6か条★

- その1. 代かき・整地は**均平**に！ (浅深凹凸田は効かなくなる最大の原因です。レーザーレベラーの活用などはさらに有効。)
- その2. **効く成分**で選びましょう！ (ホタルイ特効薬) 新SU剤アルテア(コメット・レプラスに配合) テフリルトリオン・ベンゾピシクロン配合剤を！ (クログワイ特効薬) 新SU剤アルテア(コメット・レプラスに配合) ベンフレート・タイムロン・ベントキサゾン配合剤を！ (マツバイ・ウリカワ・ミソハギ) 新SU剤アルテア(コメット・レプラスに配合) ベンスルフロンメチル・ピラソルフロンエチル・イマゾスルフロンSU系配合剤を！ (コナギ・アゼナ・クサネム・イボ草) テフリルトリオン・ベンゾピシクロン配合剤を！ (ヒエ) ピラクロニル・ピリミスルファン・フェノキサスルホン・オキサジクロメホン・シハロホップブチル・ベンゾピシクロン・フェントラザミド
- その3. **水持ち悪い田には薬剤の方が効く**！ 薬剤が残り、撒きムラ少なく安定。ジャンボ剤やフロアブル剤は水といっしょに抜ける恐れ。
- その4. 繁忙期は**田植同時**または**初期剤**の使用で雑草の侵入を未然に防止。(一発剤散布まで間を空けると雑草が伸びて効かない) 近年、雑草の生育速度が倍速化。田植期の高温化で以前は1葉伸びるのに7日だったのが最近では3~4日へと
- その5. **散布後は湛水3~5日維持。水は入れないそのままに**！ 薬剤処理層(膜)が水流で崩れ、効果が薄まるので入水禁止！
- その6. **毎年同じ場所(田)に多発生解決策2つのご提案**！  
①刈取後の雑草2番穂へ(10~11月降霜前) ラウンドアップ25~100倍液を直接雑草へ散布(新潟、東北、北陸などでは定番技術)  
②耕起の回数を特に増やす(雑草の塊茎(球根)や種子を表面寒気にさらして、弱らせる)

### 参考情報

- ◎多年生草(ホタルイ・クログワイ(千本槍、イゴなど)・オモダカ・マツバイ・アオイ・アシカキ・ウリカワなど) 塊茎(球根)増殖が主だが、ホタルイなどは種子で増殖する。  
\*ホタルイとクログワイの判別法 (ホタルイ) 球根無し。茎多く、7月には先端に花小穂(白黄色の)付く。(クログワイ) 球根あり。(黒くて小さい) 茎をしごとくブチブチ音がする。花穂ほとんど付かない
- ◎1年生草(ヒエ・アゼナ・アブノメ・ミソハギ・コナギ・クサネム・イボ草・タテ・センダン草など) 種子繁殖性。畦畔より侵入、繁殖種子強害草、中干後からも発生多い。(中干で除草剤がリセットされる) 中、後期剤の利用を！  
\*ヒエと稲の判別法 (ヒエ) 葉表裏とも毛で柔らかい。(稲) 葉表裏とも毛があり、芯がある。



## 水稲早植の防除方法(コシヒカリ等)

4月	5月	6月	7月	8月	9月					
上	中	下	上	中	下					
種子消毒	播種	箱施用予防	田植	イネミズ・ドロオイ・ツトムシ ウンカ・ヨコバイ本田防除	いもち病予防	いもち病・紋枯病 兼用予防剤	いもち病 治療	出穂	カメムシその他 虫全般	刈取
スミチオン乳剤 二四時間 浸漬				バダン粒剤 100g/3kg マルチ粒剤 100g/3kg トボシ粒剤 100g/3kg	キタシロ粒剤 100g/3kg	モンカウト粒剤 100g/3kg	フジワン粒剤 100g/3kg	キアラップ粒剤 100g/3kg	トレン粒剤 100g/3kg MR. ジョーカーIEW 200g/3kg マルチ粒剤 100g/3kg	※カメムシは畦畔雑草を好むので出穂前後2週間は除草しない(田への侵入減る)